

2027年3月期 第1四半期 決算説明会

2026年7月31日
株式会社MARUWA（5344）

ご注意事項

本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。
将来の見込みに関する事項については、現時点で入手可能な情報に基づいており、
将来の事象により変動する可能性があり、内容を保証するものではありません。
なお、本決算説明会の模様は、今後の運営の向上のため録音録画いたします。

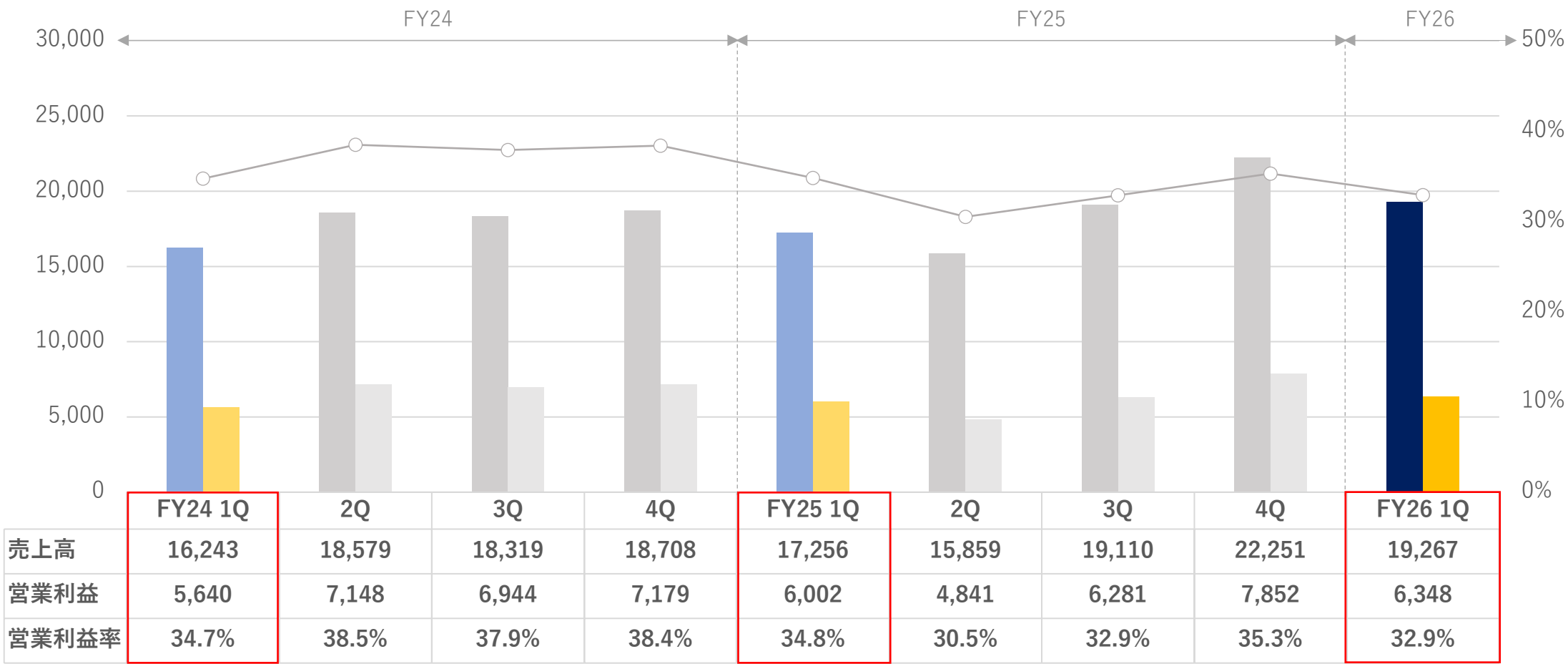
1. 決算概要

	FY2026 1Q(4~6月) 対前期増減 YoY		FY2025 1Q(4~6月)
売上高	19,267	+ 11.7%	17,256
営業利益	6,348	+ 5.8%	6,002
経常利益	6,574	+ 14.9%	5,722
四半期純利益	4,466	+ 15.2%	3,878

(金額：百万円)

2. 四半期業績

- 売上・利益ともに**1Q**で過去最高の業績。
- 情報通信関連の次世代高速通信向けが業績を牽引。



(金額：百万円)

3. 市場別売上高

■市場別売上高

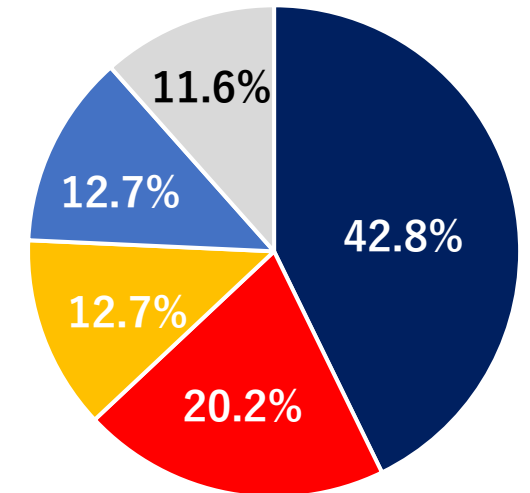
- 情報通信：次世代高速通信向けが高水準で推移。
- 車載：新エネルギー車向けが底堅く推移。
- 半導体：汎用メモリ関連で受注が回復。

	26年度 1Q(4~6月) YoY		25年度 1Q
情報通信	92億円	+ 24%	74億円
車載	35億円	± 0%	35億円
半導体	22億円	± 0%	22億円
産業機器	20億円	△9%	22億円
照明	25億円	+ 25%	20億円

※上記は速報値となります。金額は億単位未満を四捨五入し記載しております。

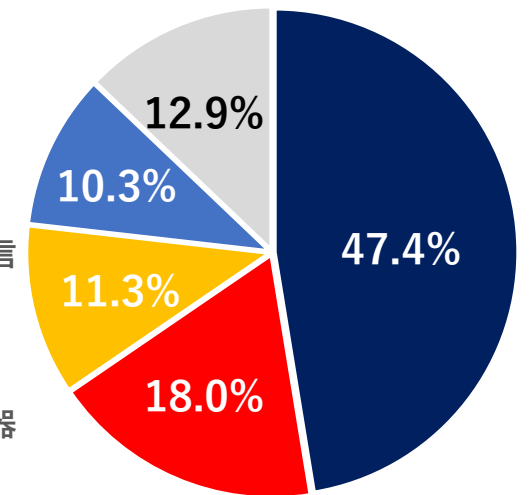
■構成比

25年度 1Q



26年度 1Q

- 情報通信
- 車載
- 半導体
- 産業機器
- 照明



4. 26年度業績見通し

	通期		上期		下期	
		YoY		YoY		YoY
売上高	93,300	+ 25.3%	42,200	+ 27.4%	51,100	+ 23.5%
営業利益	33,700	+ 34.9%	14,800	+ 36.5%	18,900	+ 33.7%
営業利益率	36.1%	—	35.1%	—	37.0%	—

- 通信・半導体でさらなる需要増加が見込まれるため、見通しを上方修正
通信は次世代高速通信関連の次期モデル向けで需要拡大
半導体はメモリ関連の需要が本格的に拡大
- 前期比+25%の成長を見込む（期初⇒現在）
通信+23%⇒+48% 車載+2%⇒+6% 半導体+14%⇒+20%

（金額：百万円）

※為替レートは、1ドル=158円を想定しております。

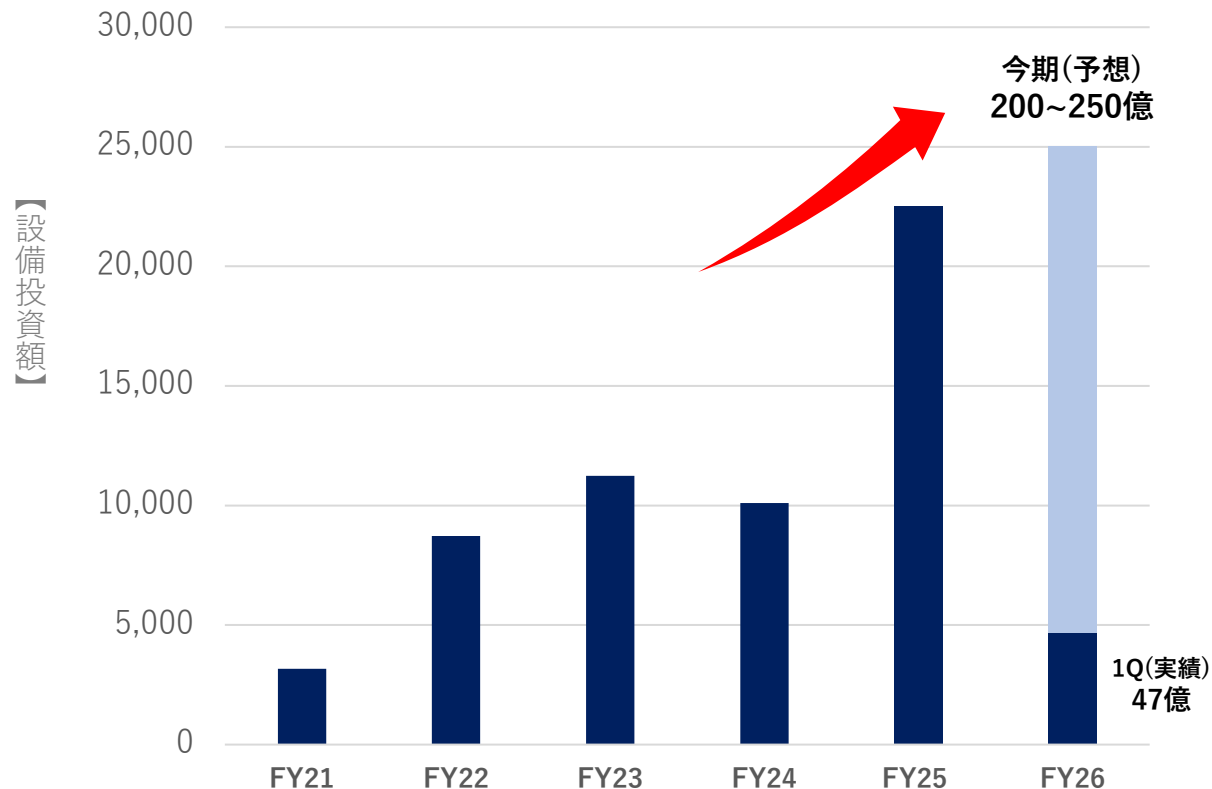
5. 今後の見通し（市場動向）

市場 (26年度成長率)	状況
情報通信 (YoY+48%)	・次世代高速通信関連の次期モデル向けで、需要拡大の見通し。 ・大幅な需要増加に対応し、瀬戸工場新棟にて生産体制の強化を図る。
車載 (+6%)	・新エネルギー車関連は差別化製品でシェアのさらなる拡大を図る。
半導体 (+20%)	・汎用メモリ関連の需要が第2四半期より本格的に拡大する見通し。 ・旺盛な需要に応え、三春工場新棟にて生産体制の強化を図る。
産業機器 (+1%)	・医療関連の新規製品の需要が増加する見通し。
照明 (+1%)	・2030年100%のLED化に向けたLED需要の増加で、堅調な業績が期待。

6. 設備投資・減価償却

- 前期に続き過去最大規模の投資を計画
- 通信・半導体等の強い需要を見据えた増産投資に加え、新技術や新市場を開拓する投資を活発化

■設備投資



(金額：百万円)

■減価償却

